

ボランティア・市民活動センター情報

令和3年1月19日 発行（令和2年度 No.2）

～ 事業の中止のお知らせ ～

★ 新型コロナウイルス感染予防の観点から、右記の事業につきましては、開催を中止いたしました。



10月3日（土）
「レクリエーション講習会」
12月5日（土）
「指定地域 福祉教育懇談会」

★ 同様の理由で、今年度予定しておりました右記事業につきまして、開催を中止させていただきます。



令和3年 2月下旬
「小樽ボランティア会議」

楽しみにして下さった方々には、残念な思いをさせていただきますが、このような情勢のためご了承くださいますようお願いいたします。



赤い羽根共同募金へのご協力 感謝申し上げます

今年の赤い羽根共同募金街頭啓発は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、10月1日は長崎屋の前で、10月3日はウイングベイ内で、密を避けながら小規模な活動となりました。高校生にとって、今年は数少ないボランティア活動の場の一つとして、活動してもらうことができました。

皆さまからお寄せいただいた募金は、子ども達への支援、高齢者の日常的な生活支援、障がい者の社会参加、地域のさまざまな課題解決のための活動に役立てられます！



小樽市総合博物館へ おじゃましました

9月から10月にかけて、北海道医療大学からソーシャルワーク実習生が社協や市役所の仕事を学びに来ました。博物館の見学の際には、小樽市総合博物館ボランティアの馬場さんが快く案内を引き受けてくださり、ご自身の経験談を交えながら、軽快なトークで楽しませていただきました。実習生からはボランティアについてたくさん質問をし、馬場さんのボランティアに対する姿勢や子ども達への思いを聞くことができました。熱心に聞き取る2人の姿がとても印象的でした。



傾聴ボランティア講座

新型コロナウイルスの影響で、2つの講座については、日程を延期して開催しました。

R2. 9月26日、10月10日、31日



講師に合同会社うえるかむの池田ひろみ氏をお迎えして、今年で3年目となる講座です。今年では中級編、応用編を開催しました。コロナの関係で、少人数で行う実践形式は少なかっ



たものの、参加者の皆さまは短い時間を有効に活用し、お話を聞き合うことを楽しんでいらしたようです。全3回で延べ45名の方が受講され、話が進むにつれ傾聴の難しさを目の当たりにする一方、傾聴の場を持ちたいと新規登録される方もいらっしゃり、大変ありがたく感じています。

ボランティアセンターでは・・・
小樽市内の施設等から傾聴の依頼があれば、登録しているボランティアさんをマッチングして、傾聴をお願いします。



災害ボランティア講座

R2. 11月7日、21日（延べ55名受講）

一般社団法人 WellbeDesign の篠原辰二氏を講師に迎え、昨年と同様に入門編と応用編（全2回受講必須）を開催しました。篠原氏は、日本各地で大きな災害が発生した際、災害ボランティアセンターの立ち上げや運営に携わっており、被災地の現状や現場で起こることなどを、知る機会となりました。

受講者の声

- 年齢に合ったボランティア活動があることがわかった
- 子どもにもできることがあることに感動！
- 災害支援の仕組みがわかり、ボランティアの立場でどこに頼るべきかわかった

- 学んだことが今後の活動に役立つものと思えたことが一番良かった
- 映像を交えての話、実際に活動された話等、大変勉強になった
- もっと多くの方に受講して知ってもらいたい



第44回道新ボランティア奨励賞 受賞 「小樽双葉高等学校奉仕活動部」

ここ数年、目を見張る活躍ぶりの、小樽双葉高等学校奉仕活動部が、今年度、道新ボランティア奨励賞を受賞しました。

「地域密着型おたすけマン」を合い言葉に、地域の幼稚園や高齢者施設のイベントのお手伝い、小樽雪あかりの路等での清掃活動、おたる地域子ども教室で小学生と触れ合う等、書き切れないくらいの活動を行っています。上級生から下級生へ伝統を受け継いで、これからも活動を続けていってまいります。



交通安全活動では、おそろいのジャンパーで学校近くの道路沿いに立ち、ドライバーに呼びかけています



フィリピン・ミンダナオ島「ミンダナオ子ども図書館」への物資支援活動では、日用品・学用品・運動靴などを送っています



地域密着型
おたすけマン
参上

アンケートに答えてくれたのは…

前部長 3年廣瀬菜織子さん

質問 受賞した感想をお聞かせください

回答：これまで先生方の支援や先輩方の活動、周りの方々の支えに感謝しながら、高校生活の短い期間ではありますが、活動に関わり、部活動として賞をいただけたことをとても嬉しく思います。

回答：道新では物資支援活動であるミンダナオ島へ送る物資の箱詰め作業を取り上げていただき、奨励賞までいただいたので、みんなで頑張ったかいがあると思います。

質問 活動で嬉しかったことを教えてください

回答：相手の笑顔が見られたり、他人に認められたりしたときは達成感を感じ、とても嬉しいです。また、幅広い年代の方に出会えることです。

回答：子どもと触れ合う活動で、元気な笑顔を見られたことです。

質問 自分の将来に活動が活かせる場合、どのように活かしたいと思いますか

回答：私はボランティア活動をとおして学んだ様々な考え方や価値観一つ一つを尊重し、将来対人関係を上手く築いていきたいです。

回答：ボランティア活動での先を見通して動く力や、やるべきことを自分から探すなどの心がけは、社会に出たときに役立つと思うので活かしていきたいです。

質問 ボランティア・市民活動センター情報を読んでいる方にメッセージをお願いします

回答：高校卒業後もボランティア活動をとおして、人との交流を大切にしたいと思っています。

回答：コロナウイルスの影響でボランティアができなかったり、様々な活動がなくなって、人と関わる機会も減っていますが、今だからできることを頑張っていきたいと思います。

北海道社会貢献賞 受賞 「小樽・朝里のまちづくりの会」

昨年、創立二十周年を迎えた小樽・朝里のまちづくりの会は、長年にわたり地域を支え、盛り上げてきた功績が実を結び、今年度、北海道社会貢献賞(地域活動推進功労者)を受賞しました。



朝里川遊歩道沿い、新光南会館横に、桜とあじさいが象徴的な「百想園」が完成しました。出入りは自由になっていますので、朝里地域以外の方にも、見学していただけます。

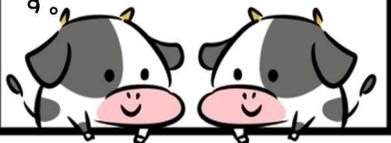
令和3年度 ボランティア・市民活動助成事業を実施いたします。
申請受付：2月9日(火)～
3月19日(金)
申請前のご相談にも応じますので、気軽にご連絡ください。

ボランティアセンターからのお知らせ



現在、コロナ禍で希薄になりがちな「人と地域のつながり」を大切にするために、情報発信や地域とのつながり作りのための新たな手段として、小樽独自の「小樽アクティブシニア応援アプリ(仮称)」を開発中です！リリースについては、準備が整い次第、皆さまにお知らせいたします。

コロナが落ち着かない状況が続きますが、皆さまいかがお過ごしですか？なかなか思うように活動ができない中ではありますが、今年もよろしく願っています。



1つ1つ、皆さまの安心安全を考慮しながら、次年度の企画を考えております。コロナの状況によっては、ギリギリまで日程を決められず、ご案内が遅れたり、中止になる可能性もありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



ボランティア活動の更新の時期が、そろそろ近づいています。

発行・編集

小樽市社会福祉協議会 小樽市ボランティア・市民活動センター
〒047-0033 小樽市富岡 1-5-10
小樽市総合福祉センター内
TEL 0134-33-5299 FAX 0134-32-5641
Eメール ovcac@otaru-shakyo.jp



本誌は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。